

竜ヶ崎第一高等学校 白幡探究Ⅰ 数学領域

～江戸時代の物の重さと使われ方～

The weight and uses of the things

原文 in the Edo period

1年 A組 2班

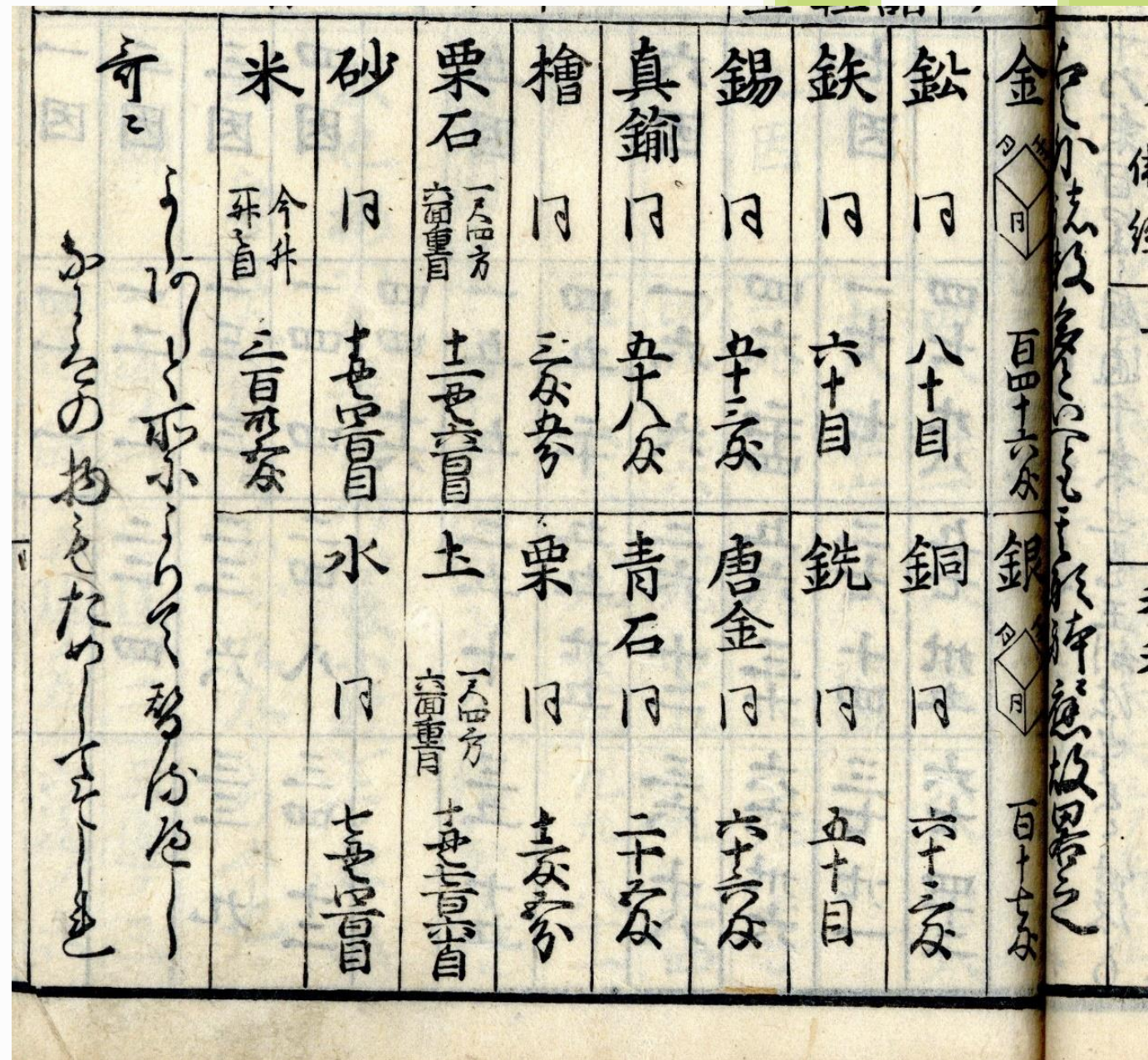
◎大沼空知 大貫翔太 坂田耀汰

石毛沙奈 石島 希美

◎ONUMA Sora ONUKI Syota

SAKATA Yougo ISHIGE Sana ISHIJIMA Nozomi

原文



キーワード

- ・重さ Weight
- ・単位 Unit
- ・貨幣 Money

現代語訳

※ 一分＝0・375グラム 一貫＝3・75キログラム
一匁＝一目＝3・75グラム

- ・金 一寸立方で百四十六匁である。
- ・鉛 同じく八十目である。
- ・鉄 同じく六十目である。
- ・錫 同じく五十三匁である。
- ・真鍮 同じく五十八匁である。
- ・檜 同じく三匁五分である。
- ・栗石 一尺四方六面重めで十二貫六百目である。
- ・砂 同じく十二貫四百目である。
- ・米 同じく三百三十五匁である。
- ・銀 同じく百十七匁である。
- ・銅 同じく六十三匁である。
- ・銃 同じく五十目である。
- ・唐金 同じく六十六匁である。
- ・青石 同じく貳十五匁である。
- ・栗 同じく十貳匁五分である。
- ・土 一尺四方六面重め十貫七百六十目である。
- ・水 同じく七貫四百目である。

係：大貫翔太

英語訳

Various gravity

Gold	1sun cubic	146monme
Lead	same	80moku
Ilon	same	60moku
Tin	same	53monme
Brass	same	58monme
Cypress	same	3monme 5bu
Kuriishi	1syaku cubic	12kan 600moku
Sand	same	10kan 400moku
Rice	imamass	1mass 300sanjyu 5mon
Silver	1sun cubic	117monme
Copper	same	63monme
Gutu	same	50moku
Krakane	same	66monme
Aoishi	same	25monme
Kurinoki	same	12monme 5bu
Soil	1syaku cubic	10kan 760moku
Water	same	7kan 400moku

係：石毛沙奈

まとめ・今後の課題・感想

まとめ 今回初めて和算の授業をして、現代語訳に直したり、意味を理解するのが、どれだけ難しいのかが分かった。

We studied Wasan for the first time. So we could learn that to translate into modern standard Japanese and to understand the sentence's meening were difficult.

今後の課題

できるだけ現代語に近い現代語訳に直すこと。
もっと理解がしやすい内容にすること。

To translate into modern standard Japanese as resemble as we can.

To correct the contents more easier to understand.

感想

江戸文化を調べ、様々な素材の使われ方を知る事ができて、面白かった。江戸時代の人単位への考え方を知って、とても興味深いと思った。

First, we refer the “Edo Bunka” so we could know how to use many materials in the edo era. And It was interesting. Second, we knew how to think of unit and we thought it is very interesting.

班長：大沼 空知

江戸文化

☆江戸時代の貨幣制度：金、銀

金一両は現代で約75,000円

金1分は現代で20,000円弱

金1朱は現代で5,000円弱

銀1貫は現代で約1,250,000円

銀1匁は現代で約1,250円

銀1分は現代で約125円

☆金

装飾品として人類に利用された最古の金属。

銀や銅とともに貨幣用金属の一つであり、金貨として使用され、流通してきた。

金貨をつくる機関は「金座」と呼ばれ、江戸・京都・駿河(静岡)・佐渡などにあった。

☆銀

貨幣用金属の一つ。江戸時代には主に銀貨として使われた。質量単位は貫、匁、及び分、たまに目が用いられた。当時の銀貨の形は不揃いだったため、使用の際に毎回重さを確認して価値を確認する必要があった。秤量貨幣ゆえに、【丁銀】、【豆銀】などの種類があった。

係 坂田耀汰



英語訳

☆ The money system in Edo period : gold, silver

Gold 1 ryou is about 75000yen in modern times.

Gold 1 bu is about 20000yen in modern times.

Gold 1 syu is about 5000yen in modern times.

Silver 1 kan is about 1250000yen in modern times.

Silver 1 monme is about 1250 yen in modern times.

Silver 1 bu about 125yen in modern times.

☆ Gold

The oldest metal which was used by human by way of ornament.

It is one of the coinage metal along with silver and copper. And it was used as gold coins ,and circulated.

The organization which made gold coins was called Kinza , and those were in Edo , Kyoto , Suruga , and Sado.

☆ Silver

Those are one of the coinage metal. Mainly, those metal used for “Ginka” in Edo period. Kan, Monme, Bu, and Moku were used for unit to count those weight. Those silver coin of those days weren’t desided weight so we need to check these weight every time when we use these coins. It was “hyoryo kahei”(currency by weight) so they had many type for example, “tyogin” “mamegin”

係：石島希美

参考引用文献

磯村吉徳(1659).算法闕疑抄. 文化元年(1804年)版

西田知己(2010).江戸初期和算選書 第10巻1 算法闕疑抄.研成社.

